兵庫縣聯合會

陽春花の四月なるに神戸市は選挙戦の火花を散らしておる。我党からは第一区永江一夫、板野勝次、市議選から新勝甚一、第六区から青柳喜一郎、太田米三郎の三名を立て必勝を期して闘っておる。其の他西宮市では今津町に中山八郎氏、尼崎市駆逐もて應援しておる。高井鶴太郎、御影町望月吉、市川敬三郎、伊丹町水畑、大川西村岩原の諸氏立候補、鳴尾村から前田松次、河合義一、井村中谷氏の諸氏當選、議長を初め麻生、浅沼、木清三、森脇一の諸氏大挙應援に行くことになった。尚は吾党より神戸市に松沢兼人氏立候補宣言した。

東京府聯合會では市會選挙の暁の府縣會議で奪還する決意のもとに去る四月十日党本部に於て市町村対策委員會を開き萬般の対策を議し更に斗争に關して十二日再び委員會を開き、府下町村に大活動を展開している。大体五月上旬から下旬にかけて行はれる。

党本部の活動

全國の市町村會は日本大衆党の旗高く全戦線に隠然たる勢力を作るべくの市町村會選挙には本部はあらゆる努力を傾倒しておる。先に指令を以て一般政策、運動方針の大綱を定め、其の後通達を以つて事務的方面に於ける當面の對策を発表した。

言論戦に就ては市と町村會選挙とを区別し、市會選挙には地域的に大別して遊説隊を組織し、六大都市は勿論全國の大小都市の奪還を企図し遊説しておる。神戸市會の選挙が二十四日に行はれるのには、堺利彦、河野密、麻生久、浅沼、松本、森の諸氏、八幡市會には堺利彦、加藤勘十、山梨方面には平野力三、北山亥四三、鈴木方面には淡路、川俣、稲本方面には石山、麻生、群馬方面には田所、名古屋方面には片原、中沢、西下大、遊説中。

和歌山縣聯合會

四月二十七日の投票日を前にかけて和歌山市會選挙に現市會議員岡崎星氏を立候補せしめて奮戦中。二十日には山名義鶴氏出張。

注意

一 新聞宣傳は殊に當選努力を大ならしめたいため

一 選挙斗争に對する基本的調査を確立すべく全國から其の資料を集めておるので

選挙戦況細大漏らさず御報導を乞ふ。